

理事長就任のご挨拶



理事長 中澤 護朗

このたび理事会においてご推挙いただき、理事長に就任しました中澤護朗です。

7月10日に理事会、7月24日に組合会を開催し、平成26年度の事業報告、歳入歳出決算等の審議事項を全員一致で承認可決をいただきました。

また7月24日に新理事における理事会を開催し、理事長その他の執行役員を選任し可決をいただきました。非常に難しい局面ですが、下記のことを念頭に置いて組合運営を致す所存です。

社会保障制度と税の一体改革

国では、介護保険、医療保険の支出が予想以上の伸び率のため、国家財政に多大な影響をあたえるということで、数年前からこの法案の検討と実施の時期を図り、そして、27年の通常国会で法案の提出。審議を進めてきた結果27年5月に可決し、28年度から施行、実施の運びとなりました。

当組合への影響は、個人所得の高い保険組合(医師国保、歯科医師国保、弁護士国保、税理士国保等)の補助金が高すぎるということで補助率の見直し案が審議され、可決されましたので補助金カットが現実のこととなりました。補助金収入が大幅に減額になり運営に多大な影響が出ることは必至ですが、早急に歳入歳出のすべての項目を洗い出し今後の方針を検討し、報告いたします。

治療より予防と健康への過信

ここ数年治療より予防及び健康への過信を中心にお話をしてきました。そのためにも保健事業の充実を図る方針です。ただ、2万人の被保険者のすべてに保健事業を理解していただく、その周知することの大切さと難しさを痛感しています。今後とも税理士会と協調・連携を密にし、当組合のPRに努めたいと思っています。

予防健診することにより万が一ヤマイが判明しても早期に発見でき早期に治療にかかり、早期に根治することができると思え、このことは自分自身はもとより、何よりも家族のためにもなるということをご認識しご利用いただければ幸いです。

もう一点問いかけます。それは**皆さん元気ですかー!**という言葉です。聞いた皆さんは一瞬不思議そうな顔をします。そして元気でーすと答えてくれます。ああ皆さん健康でよかったというホッとする反面、私の問いかけの真の思いは別のところにあります。それはこの方は健診をしたり予防をしたりしているの健康だとか、俺は健康でいままで病院のお世話になったことがないと自慢している方なのか、このそれぞれの健康だという認識は似て非なるものです。つい先日、某俳優が仕事が忙しいという理由で病院での健診もしていなかった結果、手遅れになったという報道がありました。組合員皆様にこのようなことにならないよう健康への啓蒙を進めるとともに、予防、健診に対する発信をより一層推し進めたいと考えています。

組合の運営にあたり問題が山積している現状です。責任の重さを痛感するとともに、このような時にこそ我々役員一丸となって荒波を乗り切ることが役目だと認識しています。

今後とも皆様のご協力を頂き健全な運営に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻をお願いして再任のお礼と致します。